

令和5年第2回定例会  
政策企画雇用経済観光常任委員会  
所管事項説明資料

◎ 所管事項説明

- (1) 若者等の県内就職促進について . . . 1
- (2) 大阪・関西万博に向けた取組について . . . 5
- (3) 三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想(中間案)について . . . 9
- (4) 各種審議会等の審議状況の報告について . . . 17
- (5) 首都圏営業拠点「三重テラス」について . . . 19

別冊

令和5年12月13日

雇用経済部



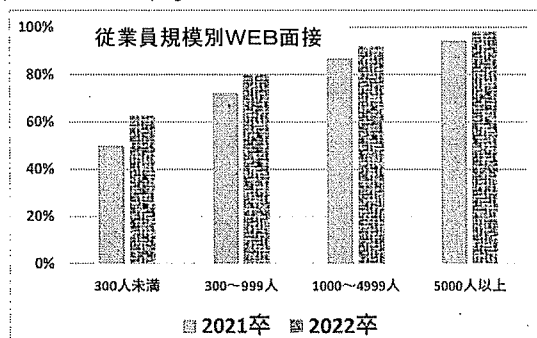
## (1) 若者等の県内就職促進について

### 1 就職活動を取り巻く環境変化への取組

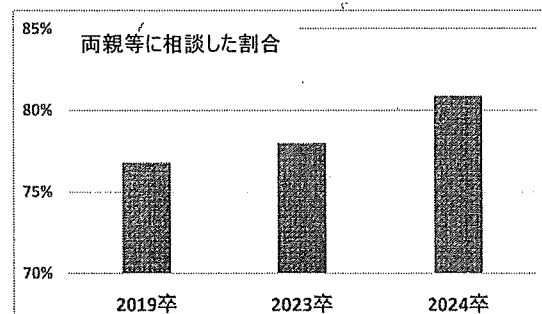
#### (1) 現状と課題

就職活動のオンライン化や保護者の関与拡大に加え、就職に関する情報の多様化など、就職活動を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの変化に対応し、効果的な就職支援等を行う必要があります。

一方で、不本意非正規雇用者等には、就労支援情報等が十分に認知されていない状況であり、効果的な情報発信と支援対象者の状況に応じた支援を行う必要があります。



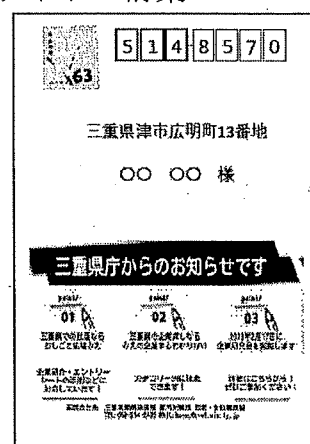
出典：就職白書  
(就職みらい研究所調査)



出典：Uターン・地元就職に関する調査  
(マイナビ調査)

#### (2) 今年度の取組

- ・ 三重の企業情報等を掲載したサイトでの情報発信、オンラインによる合同企業説明会や短期就業体験の実施
- ・ 「おしごと広場みえ」が提供する就労支援サービスのオンライン化、三重県の就職支援情報等を一元的に管理できるポータルサイトの構築
- ・ 協定締結大学生の保護者への県就職情報の広告付きハガキ送付
- ・ 不本意非正規雇用者等へのターゲティング広告やタブロイド紙を活用した就労支援情報等の提供
- ・ 不本意非正規雇用者の成功事例等を紹介する県内企業向けセミナーの開催



保護者向け広告付きハガキ

#### (3) 次年度に向けて検討中の取組

就職活動の環境変化に対応するため、引き続き、多様なチャネルを活用した情報発信を行うとともに、企業等が行う採用活動等の取組に対して、それぞれのニーズや課題に応じた支援を行います。

また、不本意非正規雇用者等の就労を支援する機関の相談員を対象とした他県先進事例の研修会を開催し、相談スキル向上等に取り組めます。

## 2 県外大学の学生・転職潜在層の県内就職促進に向けた取組

### (1) 現状と課題

県外の就職支援協定締結大学(26校)や関係機関と連携し、就職支援情報等を発信するとともに、多様なチャネルを活用した情報発信を実施しています。

また、学生の帰省時を捉えた合同企業説明会の開催などにより、県外学生等のU・Iターン就職の促進に努めています。

一方、大学生とは就職活動の状況が異なる県外在住の転職潜在層に対しては、こうした取組が十分でなかったため、これらの層に情報発信を行うとともに特性を捉えた効果的な就職支援を行う必要があります。

### (2) 今年度の取組

- ・夏休みや冬休みなど県外学生の帰省時を捉えた合同企業説明会の開催
- ・県外学生が学生目線で発行するフリーペーパー（学生新聞）への県内就職支援情報等の掲載



夏休みの合同企業説明会の様子



学生が作るフリーペーパー

- ・三重テラスを活用した首都圏学生等と県内企業との座談会の開催
- ・新成人や高校卒業生への「おしごと広場みえ」会員登録のQRコード付チラシ配布
- ・県外在住の転職潜在層を対象にターゲティング広告等を活用した県内企業の求人情報や就職支援情報等の提供

### (3) 次年度に向けて検討中の取組

県外在住の転職潜在層の特性を捉えた効果的な支援を行うため、オンラインによる県内企業見学会や県内企業に向けた中途採用のメリット等を伝えるセミナーを開催します。

また、県出身者コミュニティ（同窓会や、三重テラスを拠点に活動する「みえフェス」など）を活用した就職情報の発信により、転職潜在層に対し県内就職の促進に取り組みます。

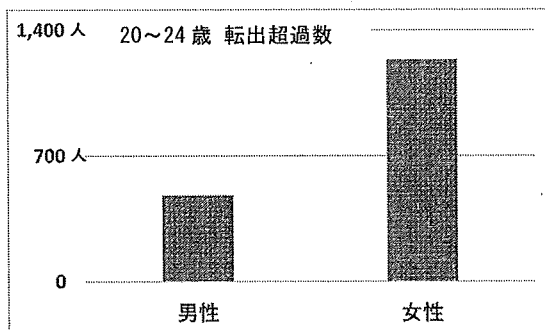
### 3 女性の県内就職促進に向けた取組

#### (1) 現状と課題

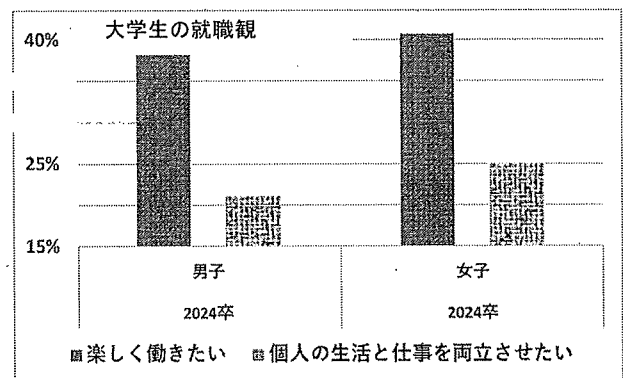
本県の転出超過数の約9割を占める若者のうち、6割を女性が占めており、特に20歳から24歳までの女性の転出超過者数は、同年代男性の転出超過数の約2.6倍となっていることから、依然として就職を機に県外へ転出する女性が多いことが考えられます。

また、女子学生の就職観に関する調査(2024卒)では「楽しく働きたい」「個人の生活と仕事を両立させたい」が合わせて6割を超えており、こうした就職時の女性求職者のニーズをふまえた取組を進める必要があります。

さらに、本県のジェンダーギャップ指数(経済分野:第46位)の向上に向けて取り組む必要があります。



出典: 住民基本台帳人口移動報告(R4)



出典: 大学生就職意識調査(マイナビ調査)

#### (2) 今年度の取組

- ・都市圏での就業経験があり、現在県内で働く女性を講師とした若年女性求職者を対象とするセミナーの開催、Instagramを活用した多様な働き方により活躍する女性等の事例発信
- ・女性が働きやすい職場づくりに取り組む企業へのアドバイザー派遣の実施、相談窓口の設置



Instagramの発信事例

#### (3) 次年度に向けて検討中の取組

就職時の女性求職者のニーズに対応するために、「推し活」など休日の過ごし方も含め、三重県で「自分らしく」働く女性の事例発信や県外在住の女子学生等との座談会を開催するとともに、休暇マニュアル作成や時間単位での休暇導入など個々の企業に応じた支援を行います。

また、「みえの働き方改革推進企業知事表彰」を見直し、女性をはじめとする求職者の関心が高い部門賞(女性が働きやすい職場づくり、休暇を取得しやすい職場づくり等)の創設や、県が実施するジェンダーギャップ等実態把握調査の結果などをふまえ、関係部局と連携した職場環境づくりに取り組みます。



## (2) 大阪・関西万博に向けた取組について

令和7年4月13日(日)から10月13日(月)までの184日間、大阪市臨海部の夢洲で開催される大阪・関西万博は、2,820万人が来場し、経済波及効果は2兆円とされる国の一大プロジェクトです。万博の好機を捉えて三重の魅力を強力に発信し、本県への観光誘客及び県産品の販路拡大につなげるため、関西広域連合が設置する関西パビリオンへ出展参加することとしています。

今年度は、令和5年3月に大阪・関西万博関連事業推進本部で策定した、「大阪・関西万博三重県ブース(仮称)出展基本計画」に基づき、展示設計及び自治体参加催事の検討を進めています。

### 1 大阪・関西万博三重県ブース(仮称)出展基本計画の概要

- ①テーマ：日本のこころの原点～美し国三重へとつづく時を超えた物語～  
過去から現代、そして未来へとつづく「日本のこころの原点」の物語を、三重の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力とともに、エンタテインメント型の空間演出で体感・体験いただきます。
- ②成果目標：来場者数35万人
- ③展示面積：160㎡
- ④展示構成：三重が世界に誇るオンリーワンの魅力を「出会う」、多様な魅力を「知る」、三重へ「旅立つ」という3つのゾーンで展開します。
- ⑤概算事業費：

関西広域連合負担金	約2億円	※この他調整中予算あり
三重県ブース展示費用	約4.6億円	
自治体参加催事	約0.5億円	

### 2 展示基本設計(案)の検討

出展基本計画に基づき、関係各課及び市町等の意向を聴きながら、三重県ブースの展示設計を検討しています。基本的な方向性は以下のとおりです。

#### (1)【出会う】時のトンネル

万博会場にいながら「伊勢神宮」や「熊野古道伊勢路」から広がる三重県の千年を超える歴史物語を体感できる幻想的なトンネルを展開します。

29市町の海や山などの自然や観光地を中心とした美しい映像を流し、ブースに誘引するほか、トンネルの先にはスモークに包まれた幻想的な空間を演出し、期待感を醸成します。

#### (2)【知る】美し国みえ体験広場

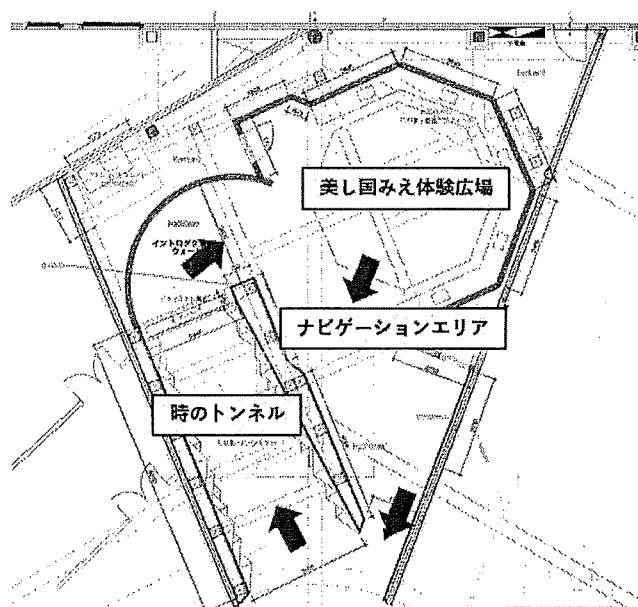
県内5つのエリアごとに食、産業などのカテゴリーを設定し、壁面モニターや床に映像を投影するほか、各エリアの特産品等を「見る、触れる、匂う」など五感を使って体験できる展示(実物展示、ワークショップ開催など)を行います。

また、熊野古道などの特集テーマを設け、広場全体でテーマに合わせた映像の投影や期間限定の特別展示等により訴求します。

### (3)【旅立つ】ナビゲーションエリア

コンシェルジュを配置し、来場者一人ひとりの興味や関心に応じて情報を提供するほか、来場者が興味のある観光情報をデジタルマップから閲覧し、QRコードなどで取得できるようにします。

また、万博会期後も三重県の観光情報が閲覧できるよう、デジタル機器も活用して「観光三重」のホームページへの誘導を図ります。



(三重県ブース平面図)

## 3 自治体参加催事の実施

万博会場内の催事スペース（屋外イベント広場）において、市町等と連携して三重の「祭り」や「食・食文化」をテーマとした催事を開催し、来場者参加型で実演するなど、より多くの来場者に参加いただき魅力を発信します。

なお、日程については、来場者が増加する会期終盤に開催できるよう調整しています。

## 4 関西圏におけるプロモーション強化の取組

万博を契機に国内外から注目が集まる好機を生かし、三重県の魅力を最大限に発信できるよう、期間限定の情報発信拠点「三重テラス in 大阪」を大阪市内に設置し、関西圏における効果的なPR方法の検証を行っています。

今年度は、11月17日（金）から11月30日（木）まで、道頓堀にあるカフェ機能を備えた観光案内所に設置し、インバウンドをターゲットとして、県産食材を使用したフードメニューや県産品の販売、かつおぶしや忍者などの体験イベント等を行うとともに、物産や観光に対するニーズや傾向を把握しました。



- ① 来場者数：1, 270人（うち外国人390人）【目標900人】
- ② 三重の魅力体験者数：1, 128人【目標1, 650人】※延べ人数
- ③ アンケート回答者数：319人（うち外国人76人）
- ④ 来場者の声・反応

- ・インバウンドや観光客には、短時間で参加できる忍者の撮影会や、かつおぶしの出汁の試飲が好まれた。
- ・三重の地酒セットを注文されたインバウンドの方が、翌日、「もう一度飲みたくなった」と来場され、三重の地酒セットを再び注文された。
- ・丁寧に観光情報を案内したところ、翌日の行き先を三重に変更していただいた事例があり、相手に合わせた情報提供は効果があった。

また、令和6年1月には、梅田で関西圏居住者をターゲットとして検証を行うこととしており、これらの結果をもとに、万博開催年まで段階的にPR方法のブラッシュアップを図ります。



(道頓堀・情報発信拠点)



(県産食材を使用したフードメニュー)

## 5 今後の取組

今後も、市町等の意見を聴きながら展示設計の詳細について検討を進め、3月に大阪・関西万博関連事業推進本部において確定し、令和6年度に展示製作、催事の具体的な企画が出来るよう着実に準備を進めます。

さらに、引き続き、万博に向けて、関西圏におけるプロモーションの強化に取り組んでいきます。

令和6年3月 実施設計

大阪・関西万博関連事業推進本部

政策企画雇用経済観光常任委員会において、報告

令和6年度 展示製作・工事、運営準備

自治体参加催事の検討

令和7年4月13日～10月13日（184日間）大阪・関西万博の開催



### (3) 三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想（中間案） について

#### 1 現状と課題

##### (1) 工業研究所

三重県工業研究所（以下「工業研究所」という。）は、県内企業が抱える様々な分野の技術課題・ニーズに対し、保有機器や研究者の知見を活用し、相談や助言、試験を実施するとともに、研究開発に取り組むなどの技術的支援を行う公設試験研究機関です。

現在、DX（デジタル・トランスフォーメーション）やCN（カーボンニュートラル）等といった分野横断的な新しい産業界のニーズのほか、老朽化が著しい施設や雨漏り等による試験機器への影響等への対応が求められています。

こうした現状をふまえ、新しい時代を見据えた工業研究所の機能強化と施設整備のビジョンとなる、「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」（以下「基本構想」という。）の策定に向けて、検討を進めているところです。

##### (2) 製造業の産業構造

###### ①現在の産業構造と特徴

- ・製造業の比重が一貫して大きく、昭和40年代は化学、昭和50年代は輸送用機器、平成は電気機器、電子・デバイス・情報通信機器等へと、牽引業種が変遷しています。
- ・県全体の産業構造としては、北勢地域では「金属製品」、「輸送用機器」、「生産用機器」、中南勢・東紀州地域では「食料品」、伊賀地域では「プラスチック製品」、「化学工業」の比重が大きく、地場産業（工業系）は、鋳物、陶磁器、清酒、形紙、くみひも等が地域に分布しています。

###### ②今後成長が期待される分野

- ・製造業が引き続き牽引役を果たすものの、DXやCNへの対応、人手不足に対応するAI・ロボットの開発・利用などが期待。

#### 2 機能強化・施設整備の方向性

##### (1) 構想検討の視点

###### ①老朽化した施設の建替え整備

- ・老朽化が著しい施設の現状をふまえ、財政状況も勘案しながら、できるだけ早期の建替え、必要とされる新たな試験機器・設備の導入、機能の高度化

###### ②県内企業ニーズに応えるための機能の強化・向上

- ・DXやCN等への対応が社会全体に求められている状況をふまえ、県内産業の一層の発展に向けた、技術相談や依頼試験・機器開放等の技術支援をはじめ、人材育成や研究開発等といった企業支援機能の強化
- ・機能強化のための最適な施設の立地、設備の配置や企業の利便性向上

###### ③県有財産の有効活用

- ・県有財産の有効活用の観点から、同様に老朽化が著しい津高等技術学校との一体的整備の可能性の検討

## (2) 工業研究所のあるべき姿

### ①機能強化の方向性

- ・基幹産業や成長産業への技術支援の強化を図り、新しい技術分野にも対応できるよう、人材や設備・機器の適切な配置を行います。
- ・製造業の立地状況や産業構造の変化を十分にふまえながら、数十年後の将来を見据えた支援機能の強化を図ります。
- ・さまざまな産業分野の技術課題の解決に向けて横断的にきめ細かく支援できる組織体制とします。
- ・幅広い主体との連携により、効率的・効果的な技術支援サービスを提供します。

### ②コンセプト

#### 「地域を支えるものづくりパートナー」

地域企業への総合的な技術支援の拠点として、将来の産業構造の変化を見据えながら、幅広い技術課題やニーズにきめ細かく対応し、三重のものづくりをサポートします。

### ③具体的方針

- (i) 企業ニーズに的確に応えるとともに、基幹産業や成長分野に対する支援体制を強化し、三重県の経済発展や科学技術の振興に貢献します。
- (ii) 企業とのコミュニケーションや、研究成果の情報発信の機会を増やし、幅広い産業分野の新技术や新商品の開発を支援します。
- (iii) DX・CNといった分野横断的なテーマに対して、先導的に取り組み、時代に合わせた企業の変革をサポートします。
- (iv) 技術者育成を積極的に支援し、企業の人材育成に貢献します。
- (v) 産学官連携をはじめ、多様な主体と連携することにより、地域における多面的な企業支援につなげます。

## (3) 拠点見直し（整備）の方向性

「工業研究所のあるべき姿」（機能強化の方向性）と「みえ公共施設等総合管理基本方針」（県有財産の有効活用）の両面から、見直し整備の方向性を次のとおり整理します。

### 【拠点見直し（整備）の方向性】

- ① 分散配置されている現在の施設（4拠点）を見直し、分野横断的なテーマにも迅速かつきめ細かく対応できる総合拠点化に向けて再整備を図ります。
- ② 地域全体でのオープンイノベーションの推進や、県有財産の有効活用の観点から、産業振興にかかる他機関との連携や異なる施設との複合化を進めることで、産業振興拠点としての機能・プレゼンスを高めます。

### 【拠点見直し（整備）方法の検討】

- ① 利用企業側からの2つの視点：
  - ・「技術支援ニーズへの対応（組織体制・機器配置）」
  - ・「企業立地状況への対応（各地域からのアクセス）」
- ② 県方針をふまえた2つの視点：
  - ・「既存用地への配置（県有財産の有効活用・円滑な整備等）」
  - ・「県の財政負担（効率性・費用縮減等）」

## 【拠点見直し(整備)案】

「拠点見直し(整備)の方向性」をふまえて、再整備(建替え整備)を図る方法としては、4拠点での再整備のほか、2拠点での再整備、1拠点での再整備など、複数の見直し案が考えられます。

工業研究所に求められる役割・機能や県有財産の有効活用の視点等を総合的に勘案した結果、資源(施設、設備、人材等)を北勢・中南勢地域の2拠点に集約することで、ワンストップ性を高めることができる、業種別の企業立地をふまえた配置とすることで県内製造業全体としてアクセスがよくなることが期待される、集約化により財政負担の軽減が図れるなどの理由から、「2拠点での機能別再整備」が最も適していると考えられます。

業種による立地傾向の違い等の産業特性をふまえて、再整備を行う拠点間での役割・機能分担と相互の連携により、利用企業のニーズにワンストップで対応できる体制を実現します。

## 【2拠点での機能別再整備のイメージ(機能・候補地・連携の考え方(案))】

○北勢地域(四日市市)・中南勢地域(津市)の2拠点において、施設・設備の再整備(建替え整備)を進めます。

○北勢拠点(四日市市)には、既存の金属・窯業等の材料系をはじめ製造技術全般にかかる「ものづくりの総合拠点」を、中南勢拠点(津市)には、全県分布する食品等の分野や県庁・産業関係団体・三重大学等との連携への対応をふまえて、本所機能を有する「連携の総合拠点」を、それぞれ整備・設置します。

○ものづくり全般に共通する基盤的技術や、DXやCN、AI等の分野横断的なテーマにかかる機能は、両拠点に配置します。

○他機関との連携については、例えば、

・北勢拠点：

三重県産業支援センター北勢支所等との一体的な運営

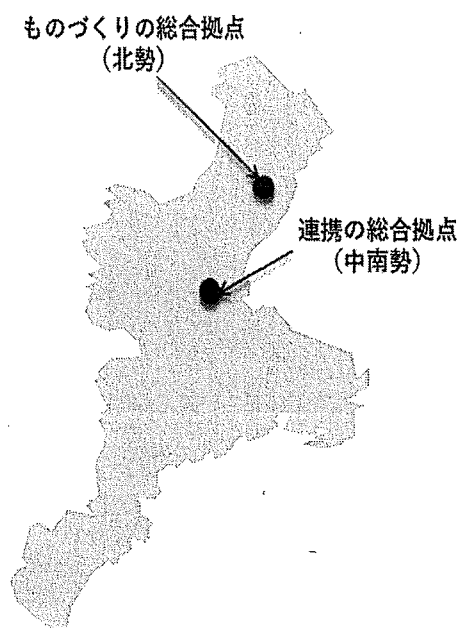
・中南勢拠点：

産業関係団体や三重大学等との連携強化

等により、工業研究所が担う技術面に加えて、経営面や人材育成面等を含む総合的な企業支援に取り組みます。

○中南勢拠点では、津高等技術学校との一体的整備を行うことにより、施設・スペースの共用化等の効率化と併せて、工業研究所による技術支援と津高等技術学校による人材育成の両面から企業支援に取り組むことで、産業振興拠点としての機能・プレゼンスの向上も期待できます。

○再整備を行わない金属研究室(桑名市)と窯業伊賀分室(伊賀市)の今後の活用については、本基本構想で描く県全体のものづくりにかかる技術支援のあり方を具体化する中で、工業研究所に求められる役割や県有財産の有効活用等の観点をふまえて検討します。



### 3 今後の予定

中間案に対するご意見もふまえて最終案をとりまとめ、年度末までに基本構想を策定、公表します。

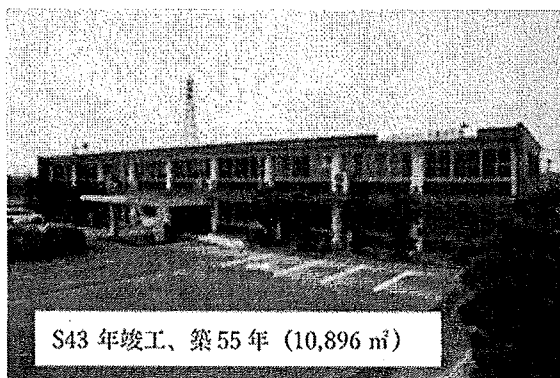
令和5年 12月 パブリックコメントの実施（翌月にかけて1か月間）

令和6年 3月 政策企画雇用経済観光常任委員会において、最終案の報告  
基本構想策定、公表

【参考1】工業研究所の施設配置について（現状）

○津、桑名、四日市、伊賀の4拠点

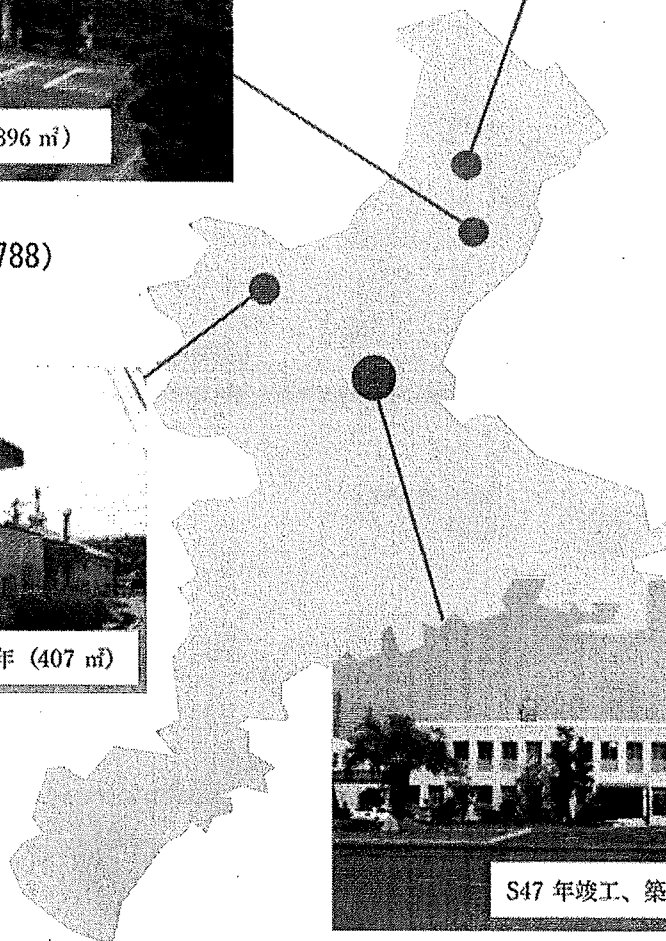
金属研究室  
(桑名市大字志知字西山 208)



窯業研究室  
(四日市市東阿倉川 788)



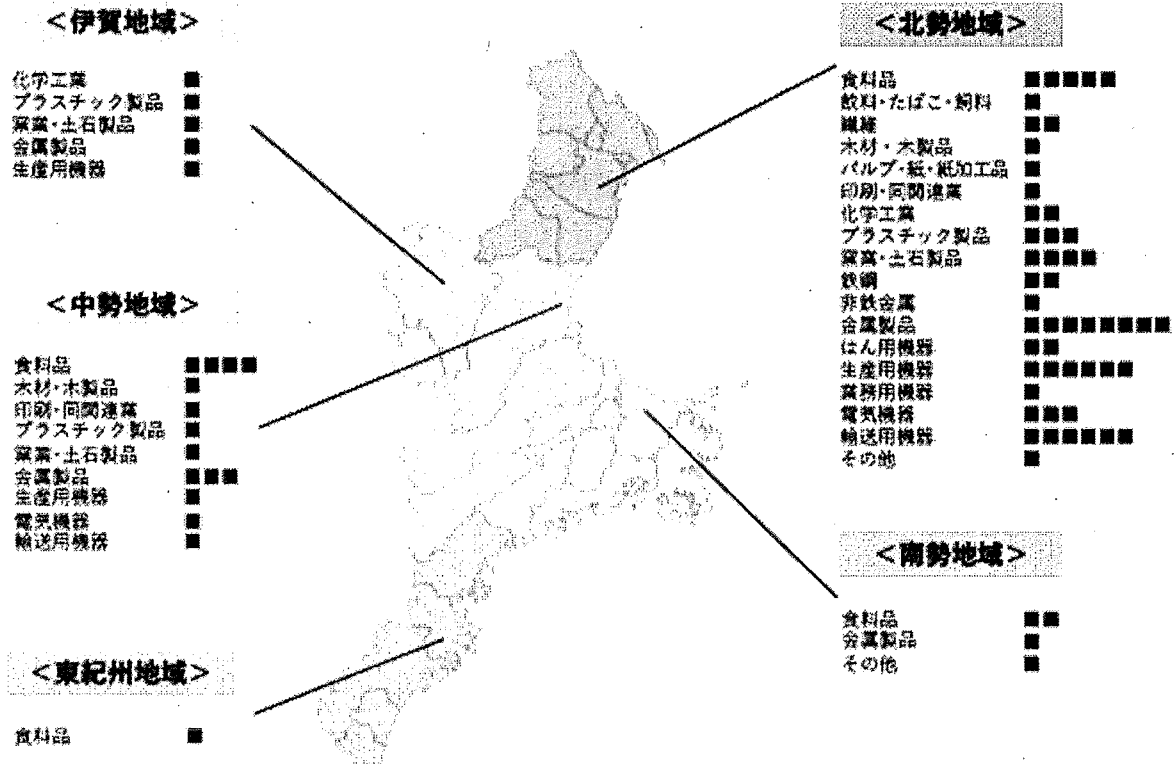
窯業研究室伊賀分室  
(伊賀市丸柱 474)



工業研究所（通称「本所」）  
(津市高茶屋 5-5-45)

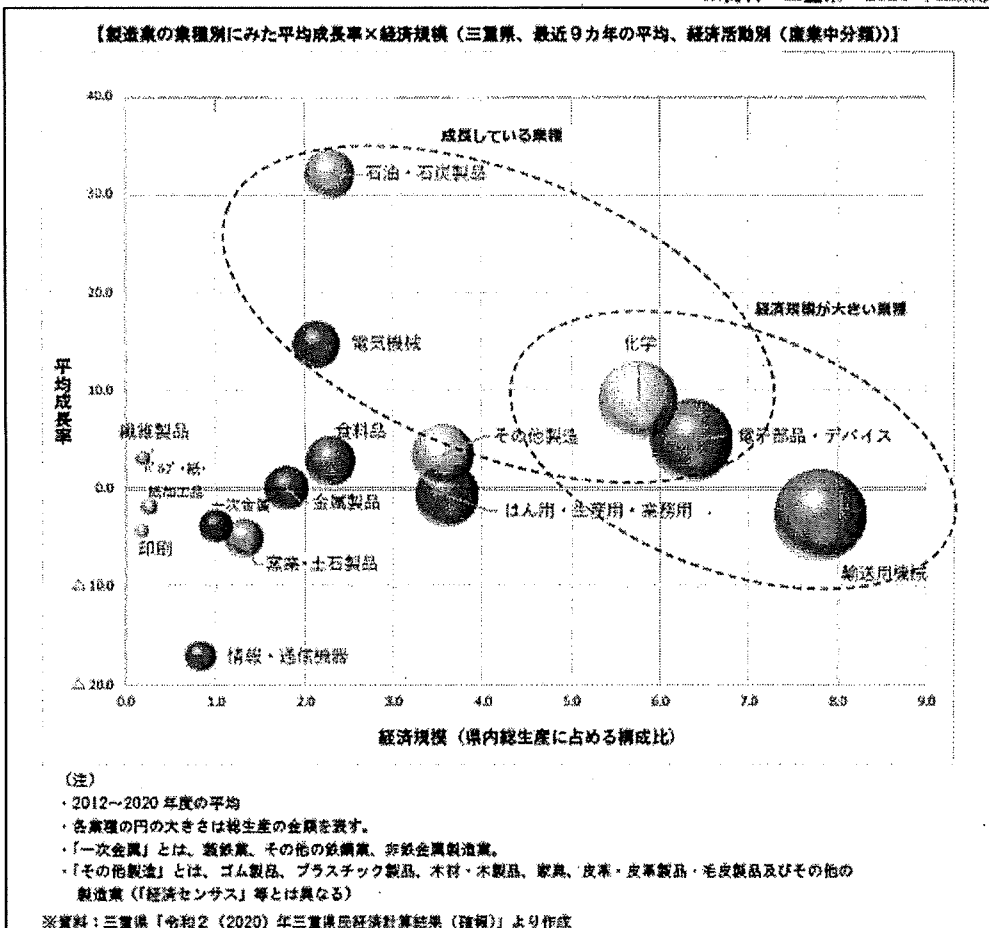
【参考2】三重県内の製造業の立地、成長率

【事業所数でみた県内製造業の立地のイメージ】



(注)  
・1マス(■) = 30事業所

※資料：三重県「2020年工業統計調査結果速報」より作成





## 【参考3】企業等からのニーズ（基本構想検討において聴取した意見等）

### ① 企業・関係業界団体の意見・声

#### 〔技術分野〕

- ・工業研究所が今後注力すべき技術分野として、「新素材・先進材料（マルチマテリアル、スマート材料含む）」、「生産技術」、「環境・エネルギー（カーボンニュートラル含む）」の3分野を挙げる企業が、工業研究所の利用歴の有無に関わらず、共通して多く、上位3位（記載順）となっている。
- ・同様に、「ロボット」、「AI」、「DX」、「IoT・ICT」の各分野も高い。

#### 〔施設・設備の配置（立地）〕

- ・産業立地・分布の状況をふまえて北勢地域への拠点配置や集約化を望む意見の他、距離等の点から現状の立地・配置を求める声がある。

#### 〔他の主体との連携〕

- ・幅広い技術課題の解決や機器の効率的利用のため、他機関との連携強化等を求める意見がある。

#### 〔その他意見等〕

- ・三重県の製造業をリードする最先端技術と、地域中小企業の実情にあったテーマの双方の取組を期待する意見の他、身近な相談相手としてきめ細かい支援を求める声がある。

### ② 有識者意見

#### 〔技術分野〕

- ・成長分野は重点的に位置づけて、他県公設試との差別化等、具体的に検討すべき。
- ・EV化が進む自動車産業分野の中小企業支援を進めてほしい。
- ・環境配慮の視点で、クリーンエネルギーやリサイクル素材等にも注力すべき。
- ・デジタルやAIは、ものづくりにおける課題解決や生産性向上の手段であり、ニーズも高く、人材育成面においても重要な視点である。

#### 〔施設・設備の配置（立地）〕

- ・2か所程度での拠点整備を検討して、産業立地等をふまえて北部に幅広い機能を配置することが妥当ではないか。
- ・企業との物理的な距離ではなく、支援内容の充実や利用しやすさの視点が大切。

#### 〔他の主体との連携〕

- ・企業が工業研究所を利用しやすくするためにも、産業関係団体等との連携が重要。
- ・津高等技術学校との一体的整備や、インキュベーション機能や機器の共同利用等に関して産業関係団体、大学や研究・学術機関等との幅広い連携可能性を検討すべき。

#### 〔その他意見等〕

- ・成長産業への重点的支援と、中小企業へのきめ細かい対応の、双方の視点が大切。

#### 【有識者意見交換会メンバー】

- 加藤 貴也 氏（三重大学地域イノベーション学研究科 准教授）
- 喜多 正幸 氏（三重県商工会議所連合会 専務理事）
- 鎌田 文雄 氏（三重県商工会連合会 事務局長）
- 田中 俊充 氏（三重県経営者協会 事務局長）
- 松井 寿人 氏（三重県中小企業団体中央会 事務局長）
- 岡村 昌和 氏（三重県産業支援センター 理事長）

【参考4】拠点見直し方法の比較考察表

		A	B - 1	B - 2	C
		4拠点での再整備	2拠点での再整備	2拠点での機能別再整備	1拠点での再整備
1	技術支援ニーズへの対応（組織体制・機器配置）	× 人員や機器の配置が困難	▲ 人員や機器の配置に懸念あり	○	◎
2	企業立地状況への対応（各地域からのアクセス）	◎	○	○	▲ 地域によってはアクセスがしにくくなる
3	既存用地への配置	▲ 敷地面積に懸念ありの用地あり	○	◎	▲ 敷地面積にやや懸念
4	県の財政負担	× 財政負担増大の懸念あり	▲ 財政負担増大の懸念あり	○	◎
総合判定		×	▲	○	▲
備考		— 統合された施設の跡地や建物の有効活用について検討の余地がある			

（記号）

◎：対応・検討にあたって、望ましい条件や前提が整っている。

○：対応・検討にあたって、必要な条件や前提が整っている。

▲：対応・検討にあたって、懸念や難点がある。またはそのおそれがある。

×：対応・検討にあたって、大きな懸念や難点がある。またはそのおそれが高い。

A案 4拠点での再整備（現4か所それぞれを総合拠点化）

B - 1案 2拠点での再整備（2か所に集約しそれぞれを総合拠点化）

B - 2案 2拠点での機能別再整備（2か所集約・産業立地を踏まえた機能を考慮）

C案 1拠点での再整備（1か所に集約して総合拠点化）

#### (4) 各種審議会等の審議状況の報告について

(令和5年9月19日～令和5年11月21日)

(雇用経済部)

1 審議会等の名称	三重県職業能力開発審議会
2 開催年月日	令和5年11月6日(月)
3 委員	【会長】三重大学 教授 松本 金矢 ほか9名出席
4 諮問事項	なし
5 調査審議結果	<p>1 三重県の職業能力開発に関する事業の実施状況等について 三重県の職業能力開発に関する事業の実施状況等を報告し、意見交換が行われました。 主な意見は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・職業訓練において、日本語の面で外国人への配慮をお願いしたい。</li><li>・障がい者の働く職種はまだ限定的。選択の幅を広げつつ、適性をみながら段階を踏んで社会に出ていける体制づくりが必要。</li><li>・障がい者の働くカフェは、本人のスキルアップと併せて事業者の経営ノウハウについても支援が必要。</li></ul> <p>2 三重県立津高等技術学校の状況等について 三重県立津高等技術学校の状況(令和6年度の普通課程再編に向けた準備状況、今後の課題)等を報告し、意見交換が行われました。 主な意見は以下のとおりでした。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・再編は良い方向。金属分野でもIT活用のニーズが出てきている。新課程(金属分野については、「産業技術専攻科 メタルワークコース」)にも取り入れ、そのことを前面にアピールすると応募も増えるのでは。</li><li>・新課程の「産業技術科」は広い範囲を扱うので、具体的に卒業後の未来が描ける内容で周知していくべき。</li><li>・新課程は高校生の気持ちを考えた良い改変なので、その意図がしっかり伝わるように学校に説明すること。</li></ul>
6 備考	なし

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和5年9月29日（金）
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之ほか4名出席
4 諮問事項	・「F マート桑名東店、(仮称) スギ薬局桑名東店」(桑名市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「F マート桑名東店、(仮称) スギ薬局桑名東店」(桑名市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の交通に与える影響について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。
6 備考	・次回審議会は令和5年10月27日（金）に行う予定である旨連絡しました。

1 審議会等の名称	三重県大規模小売店舗立地審議会
2 開催年月日	令和5年11月14日（火）
3 委員	【会長】近畿大学工業高等専門学校 教授 中平 恭之ほか4名出席
4 諮問事項	・「F マート桑名東店、(仮称) スギ薬局桑名東店」(桑名市)の新設に係る届出について（2回目） ・「伊勢忍者キングダム」(伊勢市)に新設に係る届出について ・「(仮称) イオンスタイル白子」(鈴鹿市)の新設に係る届出について
5 調査審議結果	・「F マート桑名東店、(仮称) スギ薬局桑名東店」(桑名市)の新設に係る届出について（2回目） 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の生活環境の保持の観点から意見を述べる事項は特にないと認められると結審しました。 ・「伊勢忍者キングダム」(伊勢市)に新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、駐車場及び廃棄物保管施設の運用について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。 ・「(仮称) イオンスタイル白子」(鈴鹿市)の新設に係る届出について 事務局より審議資料に基づいた説明が行われ審議した結果、周辺地域の交通に与える影響について更なる確認の必要があることから、継続審議することとなりました。
6 備考	・当初、令和5年10月27日（金）に行う予定でしたが、委員の都合により令和5年11月14日（火）に延期して開催しました。 ・次回審議会は令和5年12月8日（金）に行う予定である旨連絡しました。



# 三重テラスの運営状況について (9月~11月)

・オープン以来の来館者数累計は、令和5年11月30日現在で、5,339,254 人です。

## TOPICS

### 三重の応援団のつどい(9月30日)

三重テラスリニューアルオープン・10周年を記念して、三重を応援していただいている皆さまの交流・仲間づくりおよび今後の三重テラスコミュニティスペースの活用促進を目的としたつどいを開催

#### 「三重の応援団のつどい」

三重テラス2階コミュニティスペースにて、三重の応援団にご登録いただいている方を対象としたイベントを実施。参加者を4~5名のグループに分けて「三重テラスで今後やってみたいこと」をテーマとするグループトークや、約4年ぶりとなる立食形式での懇親会で参加者同士が交流を深めた。(参加者数:34人)



### コミュニティスペース

#### 〇コワーキングの運用開始

10月2日(月)より、三重県を応援いただく方々が2階コミュニティスペースを共有して、仕事や打合せにご利用いただくコワーキングとしての運用を開始。コミュニティマネージャーが利用者同士の交流を支援するとともに、首都圏と三重県の関係づくりに取り組んでいる。

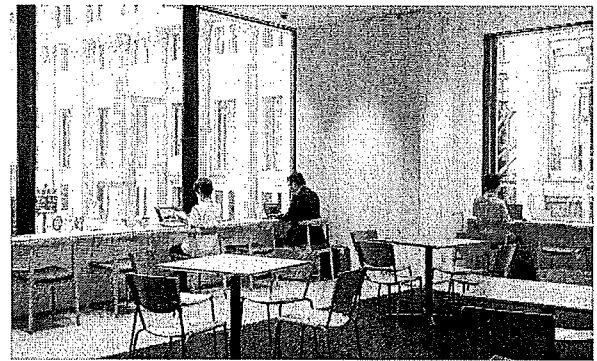
(11月末利用者数:のべ182人)

#### 〇イベントスペースの運用

##### 〇第26回鈴鹿墨東京展(10月6日~10月8日)

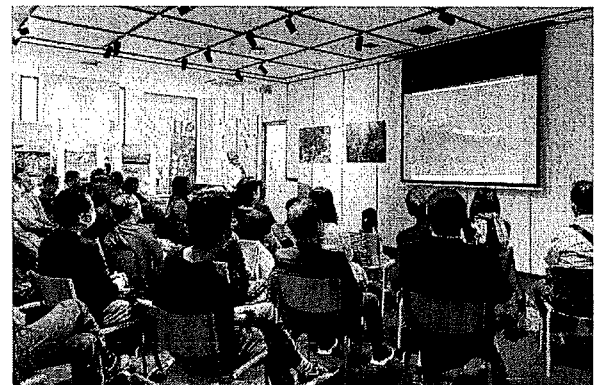
鈴鹿墨のファンの方だけでなく、初めて鈴鹿墨に触れる方にも魅力を伝えることを目的に、鈴鹿墨を使った書道家やアーティストの作品の展示や、カラフルな色墨を使用できる体験コーナーなどを実施。

(来場者数:312人)



##### 〇2023 まるごと紀北町体感フェア(10月21日~10月22日)

世界遺産登録20周年を迎える熊野古道をはじめとした観光やふるさと納税の紹介、移住相談会、紀北町産「あおさのみそ汁」の試食、ネイチャーフォトグラファーの内山りゅう氏による銚子川の魅力を伝える講演会を実施。(来場者数:292人)



# TOPICS

## ショップ

### 【9月】

- ▶ 特別企画「『赤福氷』が日本橋にやってくる！」を開催(9月23日～24日)  
2階では三重テラスで初めて赤福氷を販売。  
1階では赤福餅・白餅黒餅を販売。  
(赤福氷1,183杯、赤福中折880個、白餅黒餅400個販売)

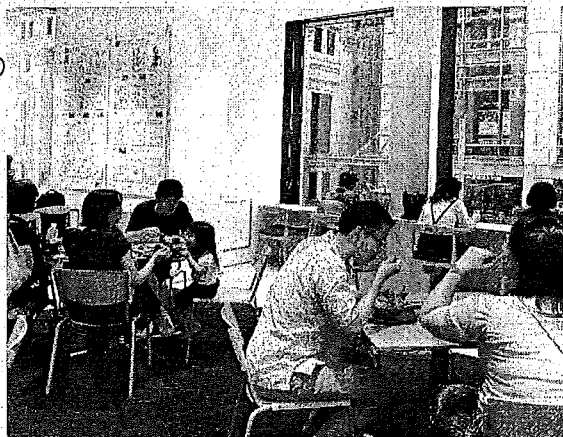
### 【10月】

- ▶ マイヤーレモンや南紀みかん、蓮台寺柿など、旬の商品を店舗入口にポップアップとして展開。

### 【11月】

- ▶ 株式会社サンショクによる対面販売を実施(11月4日～5日)  
みえジビエの試食販売を行い、事業者から直接魅力を発信。  
(試食人数: 720人)

「赤福氷」が日本橋にやってくる！の様子



## レストラン

### 【9月】

- ▶ 伊賀焼・土楽窯七代目の福森氏と、ほぼ日代表の糸井氏とともに福森氏監修のスペシャルメニューを楽しむランチ会を実施。  
(参加者数 イベント全体: 59人、レストラン: 21人)

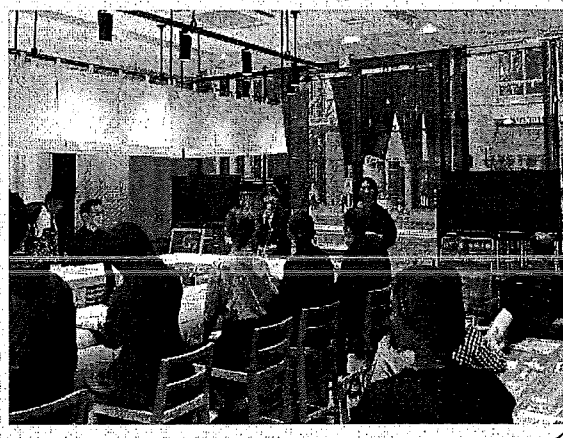
### 【10月】

- ▶ 三重テラス朔日市を開催。レストランでは朔日粥(さつまいも)と朔日うどんを提供。同時開催のイベントでは、おかげ横丁とりモートで接続し、現地の様子を体感していただいた。  
(朔日粥38食、朔日うどん40食完売)  
三重テラス朔日市は、今後も毎月1日に開催。

### 【11月】

- ▶ G7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催を記念したイベントと連携し、G7各国大臣等が実際に召し上がったメニューを提供。  
(参加者数 イベント全体: 160人、レストラン: 26人)

OG7イベントの様子



# DATA

- ▶ 令和5年度(9～11月)は、対前年同期比で、来館者が10,722人減(9.7%減)、売上が10,340千円減(21.2%減)となっています。なお、コロナ禍前の令和元年度同期比では、来館者が44,063人減(30.6%減)、売上が15,541千円減(28.8%減)となっています。

「三重テラス」の来館者数及び売上額の状況

(単位: 人)

### 1. 三重の魅力体験者の状況

	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (4月～7月)	R5 (9月～11月)	累計
ショップ	77,471	78,793	50,862	63,168	83,271	21,507	14,215	389,287
レストラン	29,743	29,130	11,459	10,470	11,421	3,411	3,738	99,372
コミュニティスペース	66,650	80,921	13,400	13,420	31,740	5,601	11,000	222,732
その他	10,987	18,799	150	715	3,835	1,277	1,250	37,013
合計	184,851	207,643	75,871	87,773	130,267	31,796	30,203	748,404

### 2. 売上状況

(税込・単位: 千円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (4月～7月)	R5 (9月～11月)	累計
ショップ	60,616	103,695	142,438	149,547	137,547	139,839	141,342	98,891	115,064	155,547	38,349	28,093	1,310,968
レストラン	46,030	96,513	106,107	114,137	105,419	114,463	114,967	42,628	44,786	62,046	14,491	10,243	871,830
合計	106,646	200,208	248,545	263,684	242,966	254,302	256,309	141,519	159,850	217,593	52,840	38,336	2,182,798

### 3. 来館者状況

(単位: 人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (4月～7月)	R5 (9月～11月)	累計
三重テラス来館者	275,243	566,521	674,256	743,074	668,847	575,591	600,557	283,613	322,579	434,837	94,106	100,030	5,339,254

\*数値は速報値であり、今後修正が生じる可能性があります。

\*端数処理の関係上、合計が一致しない部分があります。